



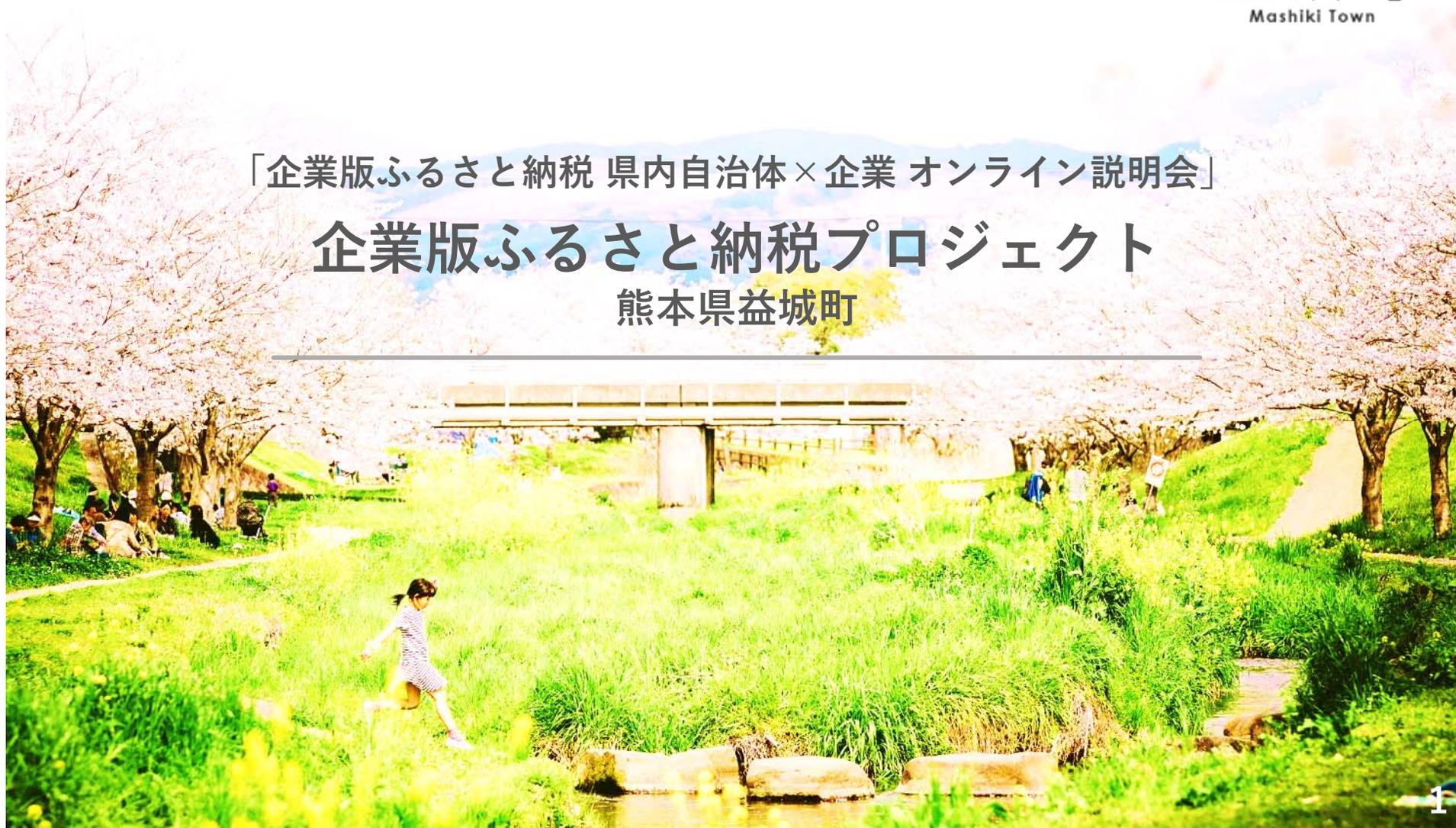
益城町

Mashiki Town

「企業版ふるさと納税 県内自治体×企業 オンライン説明会」

# 企業版ふるさと納税プロジェクト

熊本県益城町



# 1.

## 益城町の概要

### 位置

熊本県のほぼ中央から  
やや北寄り、  
熊本市に隣接

POINT

“**交通利便性**”  
にすぐれた町



空港やIC（2か所）  
があり、  
“空と陸の玄関”  
を有する

### 人口

POINT

震災前までは  
“**人口増加傾向**”

人口

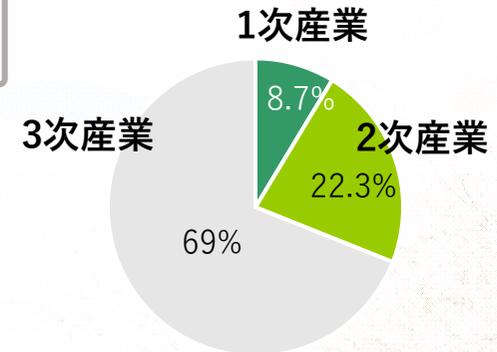
34,499人

世帯数

13,455世帯

（2016年3月時点）

### 産業構成



### 特色

- 町全域が熊本都市圏の都市計画区域
- 元々は農業を基幹産業として発展

POINT

“**田園と都市が調和**”  
する町

主な特産品

スイカ  
メロン  
さつまいも  
太秋柿  
etc...

## 2.

# 熊本地震による被害状況

POINT

熊本地震の特徴  
“2度の震度7”

前震

28時間後

本震

平成28年4月14日（木）  
21時26分頃  
マグニチュード6.5

平成28年4月16日（土）  
1時25分頃  
マグニチュード7.3

POINT

熊本地震の特徴  
“度重なる余震”

震度7

2回

震度6強

2回

震度6弱

3回

震度5強

5回

震度5弱

13回

震度4以上

145回

震度1以上

4,484回

(2018年4月30日現在)

益城町の断層帯  
付近の亀裂分布図



POINT

震度7×2を経験した  
のは益城だけ  
“震源地はいずれも町外”

## 2.

# 熊本地震による被害状況

### 人的被害

直接死	20名
震災関連死	25名
重傷	135名

(2021年3月12日時点)

### 住家被害

全壊	3,026棟
大規模半壊・半壊	3,233棟
一部損壊	4,325棟
計	10,584棟

(2021年3月12日時点)

### 避難者数

10避難所	16,050人
-------	---------

(2016年4月17日朝に記録)



POINT

警察・消防・自衛隊・  
消防団による  
“決死の救出活動”



POINT

被災家屋は全体の約98%  
“町全域に甚大な被害”

## 2.

# 熊本地震による被害状況

POINT

町有施設全58施設中**48**施設が被災するなど、甚大な被害が発生。

### 公共施設の被害（主な施設のみ）

役場庁舎・議会棟	解体
交流情報センター	補修
総合体育館	解体
文化会館	補修
町営住宅	補修
保健福祉センター	補修
男女共同参画センター	解体
小中学校7校	うち1校解体
給食センター	解体
保育所・幼稚園7か所	うち1園解体
四賢婦人記念館	解体
浄化センター	補修

### 公共土木施設の被害

道路	197カ所
橋梁	20カ所
河川	27カ所
公園	17カ所
水道	12km
下水道	22km

### その他の被害

農地	208カ所
農業用施設	392カ所

POINT

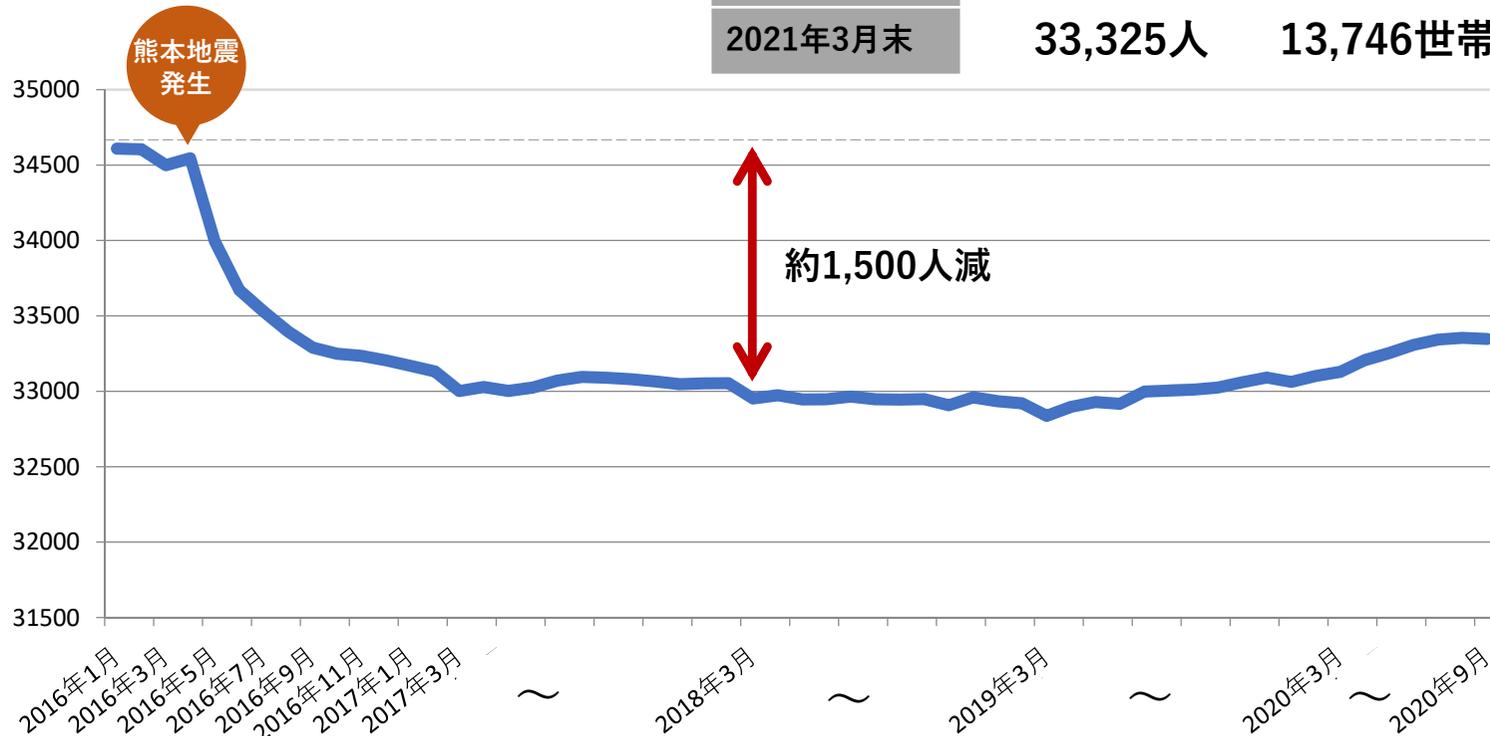
復旧には技術系職員を中心に多くの人材と多額の財源が必要に

## 2.

# 熊本地震による被害状況

熊本市のベッドタウンとして、  
震災前は年々増加していた人口が  
熊本地震の影響を受けて**大幅減**

	人口	世帯数
2016年3月末	34,499人	13,455世帯
2017年3月末	33,001人	12,945世帯
減少数	<b>▲1,498人</b>	<b>▲510世帯</b>
2021年3月末	33,325人	13,746世帯



POINT

**2020年から人口回復傾向**にあるものの、  
今後も人口増加に向けた継続的な取り組みが必須

# 3.

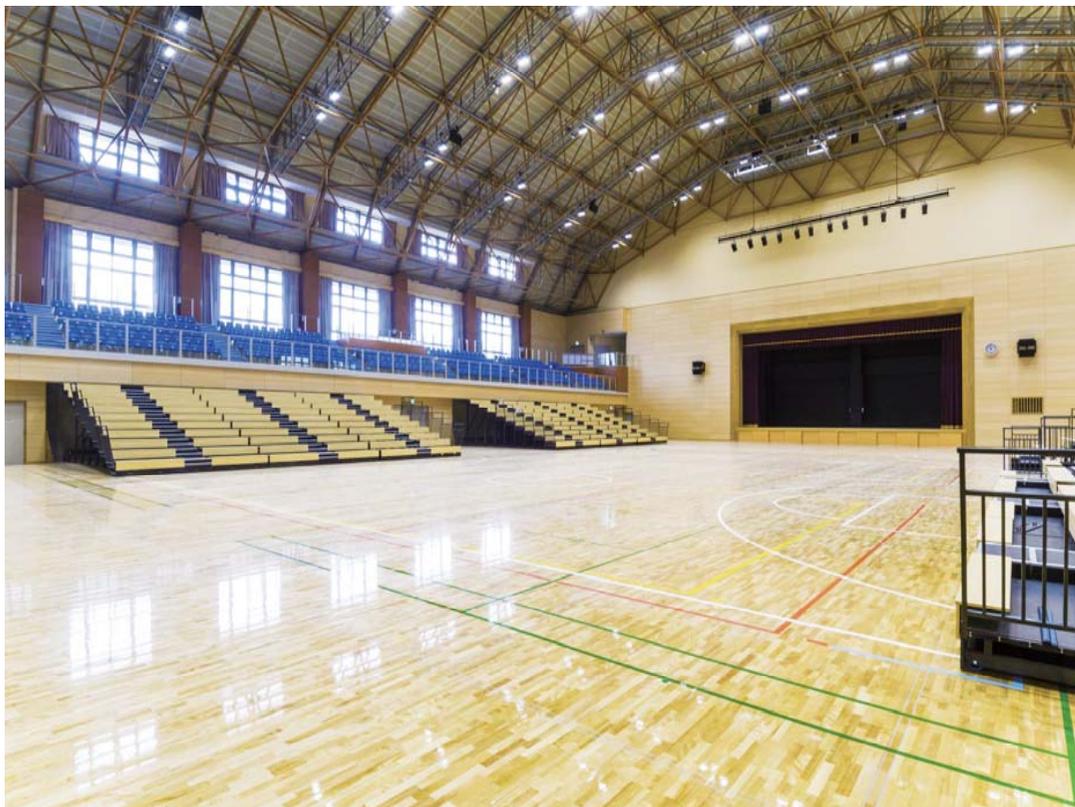
## 復旧・復興の取り組み

### 総合体育館の復旧

POINT

建て替え工事を行い、令和2年7月から供用開始。

メインアリーナの天井に板を張らず、揺れによる建物の変形を防ぐことができる構造



3.

# 復旧・復興の取り組み



## 災害公営住宅の整備

自力再建が困難な被災者には、災害公営住宅を提供。

<p>平屋建 タイプ</p> <p>計<b>99</b>戸</p> <p>(田原地区)</p>  <p><b>POINT</b> 2019年1月に 最初の団地が完成</p>	<p>集合型 タイプ</p> <p>計<b>572</b>戸</p> <p>(安永地区)</p>  <p><b>POINT</b> 2020年3月末に 全て完成</p>	<p>建設戸数</p> <p>計<b>19</b>地区</p> <p>計<b>671</b>戸</p> <p>▼</p> <p>申込者の希望に最大限 寄り添いながら入居先 を決定済み。</p>
<p><b>POINT</b> スムーズな入居に 向けた取組み</p>	<p><u>入居前の顔合せ会</u></p> <p>入居者同士の親睦を深めるとともに地域との交流を図る</p>	<p><u>団地会の形成支援</u></p> <p>団地のルールづくりや運営体制づくりなどを支援</p>

# 3.

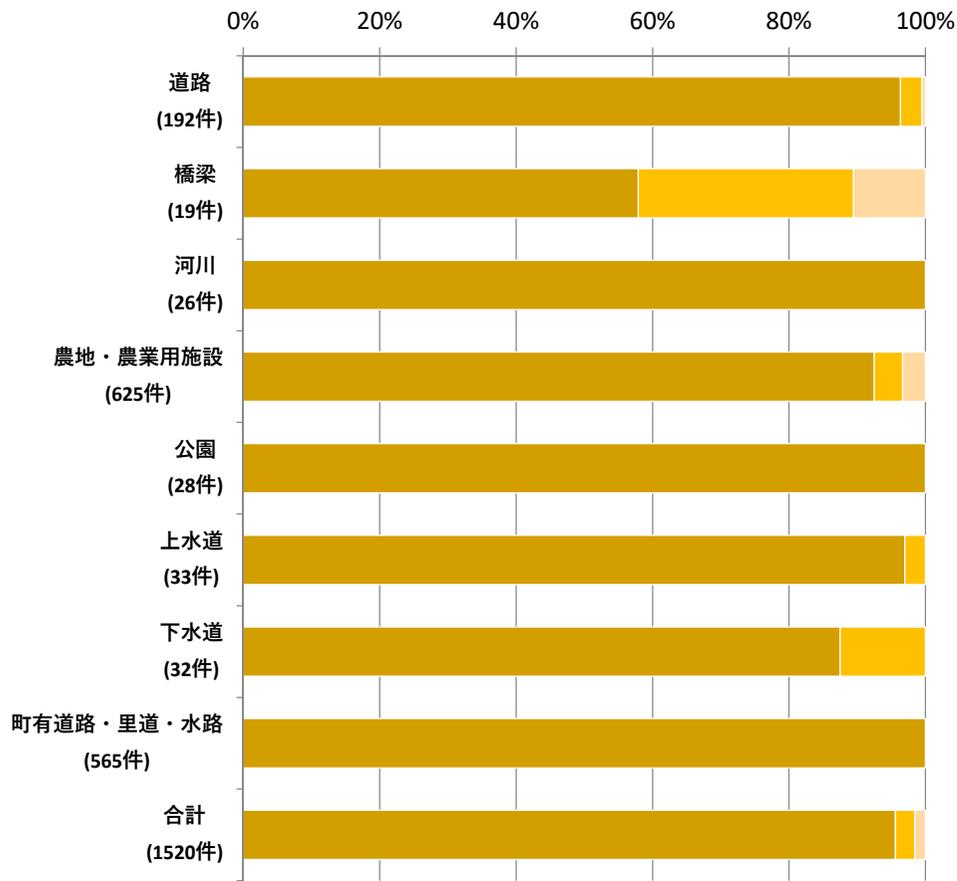
## 復旧・復興の取り組み



### 公共施設等の復旧

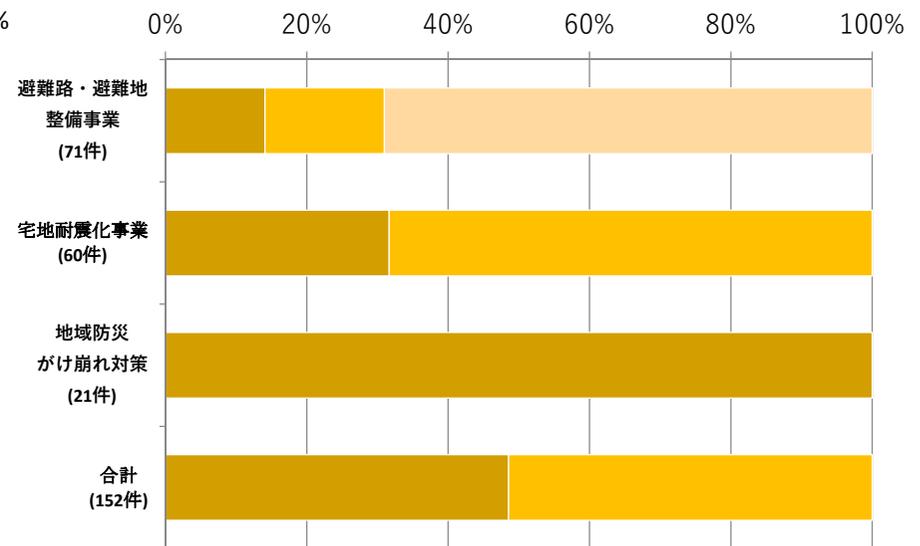
被災した公共施設等の早期復旧に向け事業を推進中。

災害復旧事業（町実施分）



\* 契約率 98.4% (1,496件) / 完了率 95.6% (1,453件)

復興・宅地耐震化事業



\* 契約率 67.8% (103箇所) / 完了率 32.9% (50箇所)

契約率：工事契約を締結したもの  
 完了率：うち工事が完了したもの

(2020年6月末時点)

# 4.

## 復旧・復興の取り組み

### 復興計画の策定

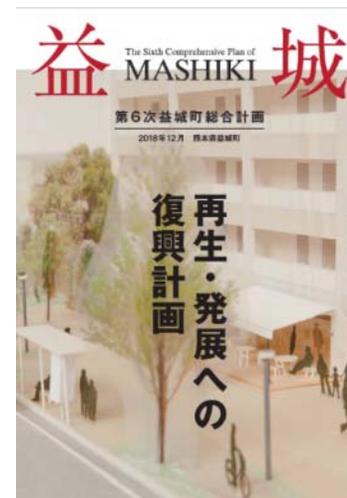
震災から8か月後の2016年12月に策定・公表。  
以後、町の復興の重要指針となる。



※町民の方々と何度も話し合いを実施。



※策定委員会で有識者と議論。



※2018年12月からは総合計画と一体化。

#### POINT

- まちの将来像 -

「住みたいまち、住み続けたいまち、次世代に継承したいまち」

# 4.

## 復旧・復興の取り組み

### 防災力の向上

熊本地震の教訓・反省を無駄にしないためにも、**防災体制の強化**に向けて様々な取り組みを実施中。

POINT

全国の自治体や  
民間企業との**連携強化**



全国の自治体と**災害時相互  
応援協定**を締結。  
様々な民間企業や団体と災  
害協定を締結。

POINT

**徹底した訓練**及び  
研修の実施



図上訓練、抜き打ち参集訓  
練、地域住民および児童も  
主体的に参加する総合防災  
訓練などを実施。

POINT

被災地への  
**災害派遣**



職員を被災地に派遣し、熊  
本地震での経験を他自治体  
に還元するとともに、様々  
な災害パターンを学び町の  
**防災力強化**に繋げる。

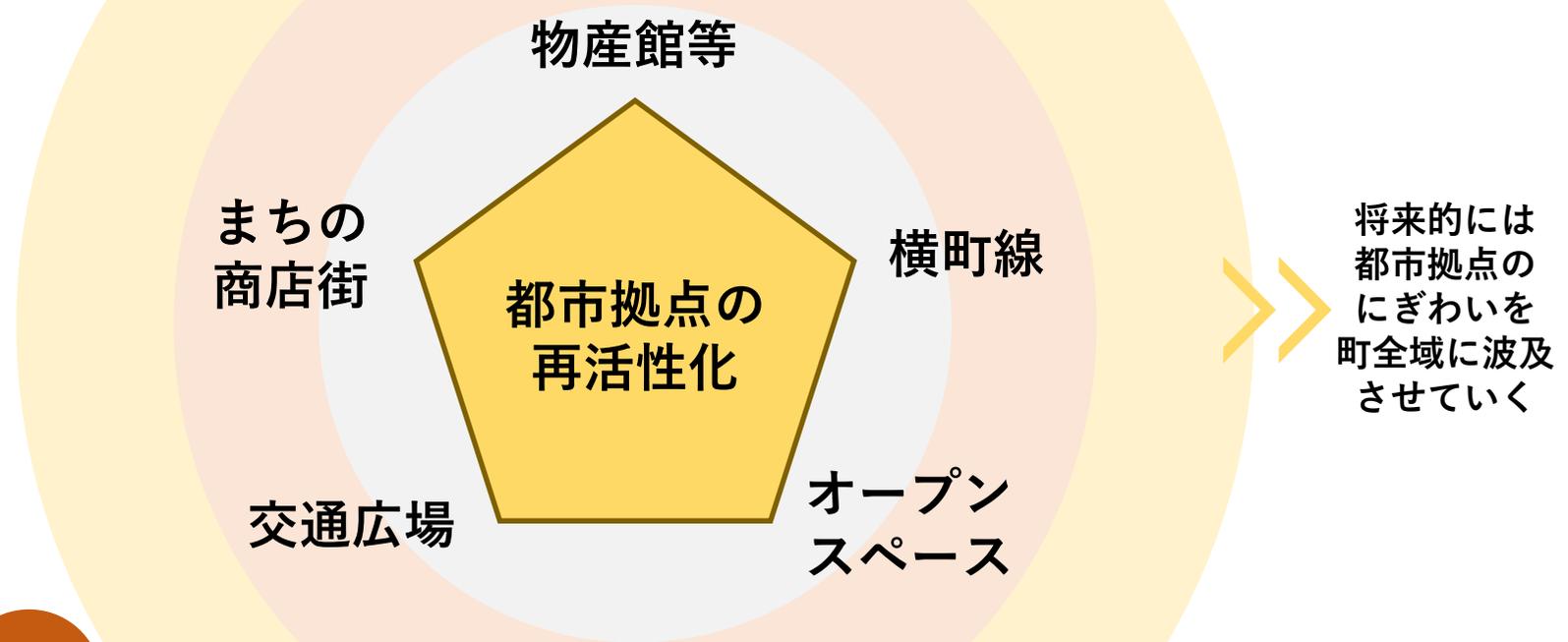
4.

# 復旧・復興の取り組み



## 都市拠点の再活性化

土地区画整理や4車線化事業、公共施設の復旧などと連動させながら、魅力ある都市拠点づくりを進める。



POINT

町中心部のにぎわいを柱として、町全域に交流人口や関係人口の更なる増加を目指す。

4.

# 復旧・復興の取り組み

## にぎわいづくり

中心部だけに限らず、町全域に“にぎわい”を創り出す施策にも着手。

震災ミュージアム



広域連携による回廊型ミュージアムを設置予定。

ワンピース像



本町はサンジ像を設置。(2019.12.7)

四賢婦人記念館



震災により移築しリニューアルオープン。

教育旅行



関東・関西の学校向けに誘致活動を展開中。

etc...

POINT

様々な施策を連動させながら、町全域に“にぎわい”の創出を目指す

# 4.

## 復旧・復興の取り組み

### にぎわいづくり

#### 塩 (こめます) の開発・ 販路開拓

- 町の主要農産品である米を使った「焼酎」を開発
- 庁内若手職員チームによる企画立案

2020年全国酒類コンクール  
第1位特賞受賞！



塩 (こめます) を使った  
ゼリーも開発

etc...

POINT

民間企業と協働し、  
町の農産物を活用した特産品開発を推進

# 4.

## 復旧・復興の取り組み

### 記憶の継承

熊本地震で表出した3ヶ所の地表断層を  
**国天然記念物**として指定。

#### 谷川地区

狭い範囲で「V字型」に露出した共役断層を同一視点から確認できる国内でも稀有な標本。



#### 杉堂地区

潮井公園内に鎮座する「潮井神社」境内地に露出した断層。ご神木である榎の巨木が根元より倒壊しており、地震の威力の強大さがうかがえる。



#### 堂園地区

「堂園池」に隣接する畑地に露出した断層。「クランク状」に見える畦や作物が、横ずれ断層の規模を視覚的に伝える。



# 5.

## プロジェクトの全体像



### SDGsターゲット



プロジェクト名：復興まちづくり支援施設（仮称）  
建設基本計画

概要  
住民主体のまちづくりの推進

### 自治体関連KPI（地域再生計画・地方版総合戦略抜粋）

- ・交流人口数（入込客数を指標とする）／万人
- ・子ども人口（15歳未満人口）※住民基本台帳／人
- ・全体的に益城町は生活しやすい／点

### 企業KPI（中期経営計画）

- ・SDGsを含めた持続可能な社会への貢献につなげる
- ・復興支援活動によるCSR活動

### プロジェクトイメージ

【特徴】  
震災からの復興と記憶の継承による防災意識向上を目指す。



寄附

想定寄附企業  
CSR活動を行う企業



【特徴】  
地方創生SDGsをより進めていきたい一流企業

【メリット】  
・時代にあった教育の提供  
・プロジェクトを通じた町のPR  
・SDGs事例の創出  
・交流人口の増加

・地震の被害の発信  
・町の魅力の発信  
・全国との繋がり



益城町民



復興まちづくり支援施設

- ・住民活動と交流の場
- ・熊本地震の記憶の継承の場
- ・災害に備える場

プロジェクト支援  
施設への企業名掲載  
など

提供・利用

サービス提供企業  
各種学校



・復興イベント  
・震災遺構  
ツアー拠点

# 6.

## 企業のメリット

### ▶ 感謝状、広報誌掲載

- ・ 感謝状を贈呈いたします。
- ・ 町広報紙面に企業様のお名前を掲載させていただきます。

### ▶ 感謝状、プレート展示（施設完成後の展示）

- ・ 感謝状を贈呈いたします。
- ・ 施設内に1年間企業名をプレート展示いたします。  
（施設完成後の展示となります）



### ▶ 感謝状、HP掲載

- ・ 感謝状を贈呈いたします。
- ・ 寄附企業様のご紹介を益城町のHPにて作成いたします。

### ▶ 贈呈式開催

- ・ 感謝状を贈呈いたします。
- ・ 施設内に1年間企業名をプレート展示。（施設完成後）
- ・ 贈呈式を開催し、寄附企業様のご紹介を益城町のHPにて作成いたします。